

科目名	国際組織論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	山田 裕史	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-350019	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>20世紀から21世紀初頭の今日に至るまで、多くの国際組織（国際機構）が成立し、それらを通じた国際協力の枠組みが整備されてきました。その背景には、国家間の結び付きの緊密化やグローバル・ 이슈の増加、さらには主権国家のみならず市民社会が国際関係に広範に参画するようになったことなどが挙げられます。</p> <p>国際組織にはどのような種類や特徴があり、国際社会の共通課題に対してそれぞれどのような取り組みを行っているのでしょうか。本講義の目的のひとつめは、国家間あるいは政府間でつくられる政府間国際機構（IGO）や非政府間機構（NGO）の沿革、組織構造や意思決定の仕組み、法的な主体としての性格などを学ぶことにあります。ふたつめは、「人間の安全保障」という概念に着目しながら、これらの国際組織が取り組む課題領域（紛争と平和、貧困と開発、人道支援、環境と開発、民主化支援など）に注目し、国際組織がどのような役割を果たしているのか、その機能を理解することにあります。</p>				
学修到達目標	<p>(1) 国際組織の沿革、組織構造や意思決定の仕組み、法的な主体としての性格などを説明できる。</p> <p>(2) 単独の国家での取り組みには限界のあるグローバル・ 이슈において、国際組織がどのような役割を果たしているのか、その機能を説明できる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション：国際組織とは？
第2回	国際社会とは何か（テキスト第1章）
第3回	国際連盟と国際連合

第4回	紛争違法化の歴史と国際人道法（テキスト第2章）
第5回	「人間の安全保障」概念の形成と発展（テキスト第3章）
第6回	「人間の安全保障」の担い手（テキスト第4章）
第7回	ドキュメンタリー鑑賞：国連PKO
第8回	「恐怖からの自由」と「欠乏からの自由」（テキスト第5章）
第9回	ドキュメンタリー鑑賞：武装解除・動員解除・社会復帰（DDR）
第10回	「人間の安全保障」領域に対する取り組み（テキスト第6章）
第11回	保護する責任（テキスト第7章）
第12回	東日本大震災と「人間の安全保障」（テキスト第8章）
第13回	「人間の安全保障」実現のために（テキスト第9章）

第14回	2020年代の「人間の安全保障」(テキスト第10章)
第15回	まとめと振り返り
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。テキストの指定箇所または配付資料を精読する。
【復習】時間・内容	2時間。テキストの指定箇所または配付資料の不明点を理解する。

成績評価	
評価基準・方法	<p>期末レポート(70%)と授業の際のコメント・ペーパー(30%)を合わせて総合的に評価します。</p> <p>コメント・ペーパーに対するフィードバックとして、授業中に補足の解説や質問に対する回答を行います。</p>
フィードバック方法	試験後に模範解答、講評を公表します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート/グループワーク
教科書/参考書	<p>長有紀枝『入門 人間の安全保障：恐怖と欠乏からの自由を求めて [増補版]』中公新書、2021年</p> <p>各テーマに応じたレジュメや資料を授業中に配布します。また、本講義でとりあげる各テーマの概要を把握するために、次の5点を参考書として挙げます。</p> <p>(1) 最上敏樹『国際機構論講義』岩波書店、2016年  (2) 内田孟男編著『国際機構論』ミネルヴァ書房、2013年  (3) 明石康『国際連合一軌跡と展望』岩波新書、2006年  (4) 滝澤美佐子・富田麻理・望月康恵・吉村祥子編著『入門 国際機構』法律文化社、2016年  (5) 山田哲也『国際機構論入門』東京大学出版会、2018年</p>
受講上の留意点等	<p>専門科目であるため、政治学、平和学、国際関係論、世界史（近現代）など関連する基礎科目を履修済みであることが望ましいです。</p> <p>受講者には、テキストや資料を精読することや、グループ討議・発表での発言など、事前の準備と授業内での議論への積極的な参加が求められます。</p>
JABEE	